

2. 彼岸花の里 多可町間子に彼岸花を訪ねる



シンボル 妙見山を背に田園が広がる彼岸花の里 多可町間子 2015. 09. 11.

東龍灘から加古川西岸に沿って 北へ街中を抜けて西脇市の野村に出る。

ここからはいつも国道 175 号線を遡って多可町へ行く時の道。よく知った道だ。

東北へカーブする加古川と別れ、 加古川に注ぐ杉原川に沿って多可町に入り、さらに北へ。

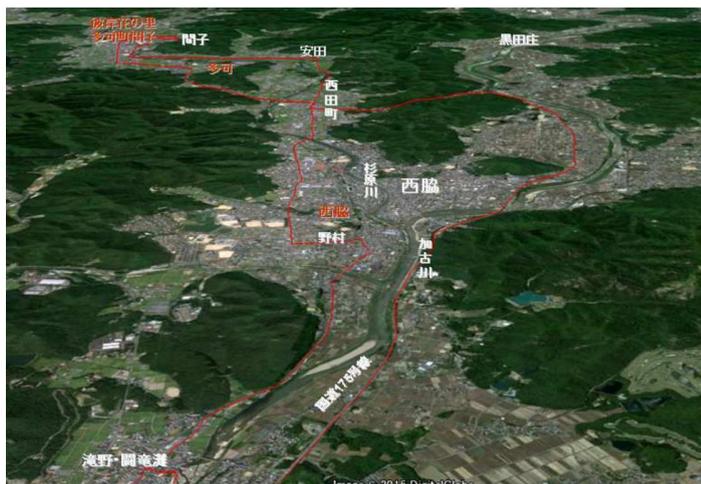
田園の中を行くと ほどなく前方に多可町のシンボル妙見山が見え、田園の中に集落がぽつぽつとある多可町にはいり、間子の集落へ。

この時節 田圃の畔に赤い彼岸花が点々と連なって沿咲くのが見えるのですが、ちょっと早すぎたようだ。

でも、久しぶりの妙見山の前に広がる緑の中に広がる広大な田園は気持ちがいい。 お久しぶりと・・・。

もう一つ びっくりしたことがある。

広がる山田錦の畔に「秋田村」の旗が幾つもひろがっていて、この多可町が酒米「山田錦」発祥の地だそうだ。



東播磨 多可町の象徴 妙見山を背に 畔に彼岸花が咲く多可町間子集落 2015. 09. 11.

お彼岸近くになるとこの川の土手や田圃の畔に彼岸花が咲き誇るのですが、少し早かったようだ。

でも 畔のあちこちに幾つものつぼみと一緒に彼岸花が咲き始めている。 自然の緑の中の赤 やっぱりこの時期の風物詩。

間子の集落の畔をぶらぶら歩いて、立ち止まっては デジカメのシャッターを押す。

今年も見にこれてよかったと。

